授業科目名： 初等教科教育法(国語)	教員の免許状取得のための必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：嶋田（しまだ）　優（まさる） 担当形態　単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、国語科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）「国語（書写を含む。）		

「学位授与の方針」との関係
ＡからＦの項目すべてに該当する。
教員免許を取得するための教職課程として必要な科目である。

授業の到達目標及びテーマ
・確かな学力を身に付ける国語科学習指導法の確立
・子どもの認識や思考及び学力等の実態を視野に入れた国語科授業の重要性を理解する。
・国語科学習指導案の構造を理解し、具体的な授業を想定した授業設計を行い、学習指導案を作成することができる。
・模擬授業や指導案検討を通して、授業改善の視点を身に付ける。
・主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を重視した授業やＩＣＴを効果的に用いた授業についての理解を深め、実践に活かしていくことができる。

授業の概要
（１）国語科学習指導要領改訂の趣旨及び要点についての考え方を理解する。
（２）学習指導要領の教科目標や内容に、「国語科改訂の要点」の考え方がどのように示されているかを理解し、その指導法を修得する。
（３）教材研究や学習指導案の作成や模擬授業や指導案検討を通して、実践的な知識や指導技術を修得する。

授業計画
第１回：国語科の改訂の趣旨及び要点について　学習指導要領の全体構造を理解する
第２回：国語科の目標と学年目標について　　学習内容と指導上の留意点を理解する
主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)やＩＣＴ活用の趣旨について理解する。
第３回：言語活動の充実と指導法 （１）「話すこと・聞くこと」の領域
※授業設計の基本にふれる
第４回：言語活動の充実と指導法 （２）「書くこと」の領域
※授業設計の基本にふれる
第５回：言語活動の充実と指導法 （３）「読むこと」の領域
※授業設計の基本にふれる
第６回：学習事項の系統性と指導法（１）「話すこと・聞くこと」の領域
学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する
第７回：学習事項の系統性と指導法（２）「書くこと」の領域
学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する

第８回：学習事項の系統性と指導法（３）「読むこと」の領域
　　学習指導案の構成を理解し、指導案を作成する
第９回：学習過程の明確化と指導法（１）「話すこと・聞くこと」の領域
　　学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ
第１０回：学習過程の明確化と指導法（２）「書くこと」の領域
　　学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ
第１１回：学習過程の明確化と指導法（３）「読むこと」の領域
　　学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ
第１２回：我が国の言語文化に関する事項と国語の特質に関する事項の指導法
　　学習指導の工夫改善の具体例に学ぶ
第１３回：指導計画の作成と内容の取扱い
　　国語科の指導計画の作成に向けての基本を学ぶ
第１４回：教材研究の方法
　　領域ごとの特徴にふれ、授業に生かすための教材研究の具体を学ぶ
第１５回：国語科 学習指導案の作成と模擬授業
定期試験

スクーリングでの学修内容
　主に第３回から第１１回の内容から、その主要部分を取り上げていく。
　模擬授業や指導案検討も行う。

教科書
（１）　文部科学省『小学校学習指導要領解説　国語編』平成２９年６月
（２）　ダウンロード版教科書
（３）　文部科学省　各教科等の指導におけるＩＣＴの効果的な活用について

参考文献
（１）　『平成２９年版　学習指導要領改訂のポイント　国語』　明治図書
（２）　水戸部　修治『小学校　新学習指導要領　国語の授業づくり』明治図書

学生に対する評価
レポート評価（２５％）、スクーリング評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。